

2009年全英オープン開催後のターンベリーと2010年開催のセントアンドリュース・オールドコースをラウンド！ 夏休みセント・アンドリュース&ターンベリー 8日間(4ラウンド)



セント・アンドリュース・オールドコース



ロードホール(17番)に建つオールドコースホテル



ターンベリー・アイルサコース



旅のポイント

- ☆現在、オールドコースでのプレイを最も確実に保証するのはセント・アンドリュースの7つのコースを管理するセント・アンドリュース・リンクス・トラストの唯一の公認プログラム「オールドコースエクスペリエンス」のパッケージです。当ツアーは同パッケージの費用を旅行代金に含めております。
- ☆セント・アンドリュース・オールドコースでのプレイの後は本年の全英オープン開催コースのターンベリー・アイルサコースでプレイします。
- ☆セント・アンドリュースの宿泊はオールドコース17番・ロードホール沿いに建つデラックスホテル「オールドコースホテル」。ターンベリーの宿泊はコースを見下ろす白亜のクラシックホテル「ウェスティン・ターンベリー」で確定しています。

■旅行出発日・旅行代金/成田発着・オールドコースホテル滞在

旅行期日(2009年)	エコノミークラス座席利用 旅行代金	ワールドトラベラープラス (上級エコノミー)座席利用旅行代金	ビジネスクラス座席利用 旅行代金
8月16日(日)～8月23日(日)・8日間	898,000円	998,000円	1,298,000円

■旅行条件/詳しくは別途ご用意した詳細資料でご確認ください。

一人部屋利用追加代金	195,000円
利用予定航空会社	ブリティッシュ・エアウェイズ
利用予定ホテル	オールドコースホテル(セント・アンドリュース・確定・ノン・コースビュー・ルーム) ウェスティンターンベリーホテル(ターンベリー・確定・クラシックルーム)
食事	朝食6回・昼食2回・夕食1回付き
最少催行人数・添乗員	8名様・添乗員は成田発着で同行いたします。
空港税・燃油特別付加運賃	日本国内空港使用料・国外空港諸税・燃油特別付加運賃は旅行代金に含まれておりません。 ★2009年4月1日現在 英国空港税:23,000円 航空保険料+燃油特別付加運賃:13,600円 国外空港税・航空保険料・燃油特別付加運賃は変更されることがあります。
ゴルフ	日程表記載の4回のプレイ代金は旅行代金に含まれております。 各コースともキャディ同伴プレイ(ただしセント・アンドリュース・デュークコースは乗用カートでのプレイも可)になりますが、キャディ代金(チップ込み1ラウンド50ポンド=約8,000円)はプレイ終了後に直接キャディにお支払いいただきます。
特約条項 (オールドコース・エクスペリエンス パッケージ代金のお支払い) ★詳細資料をお読みください。	当ツアーはセント・アンドリュース・オールドコースのプレイを確実に保証する公式プログラム「オールドコースエクスペリエンス」のプログラム代金を旅行代金に含めております。ツアーの催行が確定した時点で当現地プログラム代金(お一人様350,000円)をクレジットカードなどでお支払い頂きます。上記旅行代金よりプログラム代金を差し引いた残金は、出発日の30日前迄にお支払い頂きます。尚、お支払いいただきましたプログラム代金はお客様の都合で旅行参加を取り消された場合でも返金されません。詳しくは別途用意した「詳細資料」でご案内しています。

次	月・日・曜日	スケジュール
1	8月16日(日)	午前:成田発 → 午後:ロンドン着・発 → 夕刻:エジンバラ着、専用車でセント・アンドリュースへ(1時間) <セント・アンドリュース泊>
2	8月17日(月)	午前:セント・アンドリュース・オールドコースでゴルフ 昼食:クラブハウス 朝昼<セント・アンドリュース泊>
3	8月18日(火)	午前:●セント・アンドリュース・ニューコース又はデュークコースでゴルフ 昼食:クラブハウス 夕食:ホテル内レストラン 朝昼夕<セント・アンドリュース泊>
4	8月19日(水)	午前:フリータイム 午後:ホテル発 エジンバラ市内観光(エジンバラ城など)後、ターンベリーへ 朝<<ウェスティン・ターンベリー泊>
5	8月20日(木)	午前:●ターンベリー・アイルサコースでゴルフ 朝<<ウェスティン・ターンベリー泊>
6	8月21日(金)	午前:●ターンベリー・キングタイルコースでゴルフ 朝<<ウェスティン・ターンベリー泊>
7	8月22日(土)	朝:ホテル発 午前:グラスゴー発 → ロンドン経由 朝機機<機中泊>
8	8月23日(日)	午前:成田着

セント・アンドリュース・オールドコース (6721ヤード・パー72)	設計者不詳。600年前からあると言われ、後にオールドトム・モーリス、アリスター・マッケンジーなどにより現在の姿に。1番ティーフグラウンドの後ろに建つロイヤル&アンシエントゴルフクラブでルールやクラブ組織など近代ゴルフの概念が生まれたことから「ゴルフの聖地」とされています。
セント・アンドリュース・ニューコース (6625ヤード・パー71)	1895年、オールドトム・モーリスの設計でオープンした「ニューコース」。オールドコースに隣接しておりオールドととてもよく似たコンセプト、デザインのコース。ローカルプレイヤーの間ではオールドより評価が高いほどの名コース。
ターンベリー・アイルサコース (6609ヤード・パー70)	77年の全英オープンでは、J.ニクラウスとT.ワトソンの「真昼の決闘」と揶揄され今も語り継がれる暫く開催されていなかった全英オープンがいよいよ15年ぶりに開催されます。
ターンベリー・キングタイルコース (6858ヤード・パー72)	旧アランコースの一部を改修し、アイルサコースに劣らぬ難コースになりました。特に海に突き出たインコース11・12番は遠くアラン島を望む景色が素晴らしいです。

☆ゴルフプレイの順序は変更されることがあります。